

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 614 号	氏名	松崎 寿久
学位審査委員	主査	小澤 寛樹	
	副査	大園 恵幸	
	副査	篠原 一之	
論文審査の結果の要旨			
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価			
本研究は、海外でこれまで報告されている慢性肝炎における Restless legs syndrome (RLS) 有病率を、本邦で初めて明らかにするもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価			
国際的に妥当性の検証を受けた睡眠、QOL 評価法を用い、この種の研究成果を左右すると考えられる種々の標本選択バイアスを可能な限り除外するようにデザインし、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価			
上記手法で解析した結果、慢性肝疾患患者における RLS 有病率は従来報告されている一般的な日本人有病率より大きく上回る結果を示し、さらに RLS を有する慢性肝疾患患者では睡眠の質、QOL が低下していることを明らかにした。本研究は日本で慢性肝疾患患者における RLS 有病率を初めて明らかにしたものであり、価値ある研究である。今後、RLS と慢性肝疾患の病態解明に進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は RLS と慢性肝疾患の病態研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			